

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期には、家族や医師と話し合って支援している。事業所としてできる事、できない事を説明して本人の状態に合わせて話し合い、医療機関への入院、施設入所など家族の希望があれば事業所での看取りも支援している。	職員の不安がないように看取りの指針やマニュアルなどを整備して、医師の協力を得てチームで取り組んでいく。	これまでも連携しているドクターに尊厳死や看取りケアについての講習はしてもらっているが今後はマニュアル作りについて話し合う。	5ヶ月
2	35	昨年8月の台風で、床上浸水を経験した。隣接する支援ハウスの2階へ避難した。水害後、運営推進会議で話し合った。	減災に向けての独自のマニュアルを新たに作成し、消防や行政と話し合って、利用者が不安なく避難できるような協力体制を気付いていく。	地域の公民館など避難場所はあるがトイレがバリアフリーでない、大部屋に寝たきりの人を含め25人が長時間待機するには難しい。現状ではポータブルトイレを持って2Fへ避難するしかない。	数ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。